

単元題材：

環境に良い風呂椅子の製作（A 材用と加工）

（全 25 時間扱い中 第 18 時）

授業日時 2019 年 9 月 3 日（火）第 4 校時

授業学級 1 年 C 組

授業会場 技術教室

授 業 者

指 導 者

(1) ねらい

自分の選んだ接合方法に合った下穴加工ができるようにけがきを行う。

(2) 授業のポイント

- ・木材を切り出した子供たちが、かんなを使用して切断面を整えた。
- ・組み立てる際の接合方法を選択して、その接合方法に合った下穴のけがきを行う。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 組み立てを行う前に、下穴を開ける必要性を学ぶ。	○釘を打った部分がひび割れしないようにするためには、下穴を開けることが大切です。 ◇実物投影機で下穴を開けずひび割れした木材と下穴を開けひび割れしなかった木材を見せ比較し、下穴を開ける必要性に気づかせる。 ★ひび割れした木材とひび割れてない木材 ★実物投影機	20
	【学習問題】正確に下穴を開けるためにはどうすれば良いだろうか		
	2. 下穴のけがきを行う時のポイントを考える。	○組み立てするとき釘はどこに打てばいいのかな。 ◇板書を用いて、釘を下板の真ん中に打つことが大切だということに気付かせる。 ◇トラス構造の復習から釘を4つ角に打つよう促す。 ◇ダボ継ぎ専用の道具があることを伝える。	
	【学習課題】学習したポイントを基に下穴のけがきをしよう		
展開	3. けがき作業を行う。	○それでは各自選択した接合方法に合った下穴のけがきをしていきましょう。 ◇机間巡視をしながら、正確に下穴のけがきができているか確認する。手間取っている生徒がいたら、板書を振り返るよう促す。 【評価】下穴加工を行うためのけがきをすることができる。	25
	5. 授業の振り返り	○時間になったので片付けましょう。 ◇使った道具を元の場所に戻すように促す。 ◇自分の木材が周りとは混ざらないようにまとめる。	
終末			5